

## 参加者アピール

# 「違憲」の「戦争法」廃止を求め、 憲法の平和主義を守り続ける宣言

安倍政権は、憲法専門家による「違憲」批判、国会前を埋め尽くす多くの市民の声を振り切り、集団的自衛権の行使を認める安全保障関連法を2015年9月19日に成立強行した。そして2016年3月29日、この法が施行され、いよいよ「戦争する国」づくりが現実のものとなりつつある。

しかし、成立から半年以上が過ぎても国民の「戦争法廃止」の声は鳴りやまない。保守、革新といった従来の枠組みを超えて、立憲主義、民主主義を取り戻すための共同が広がり続けている。世論調査（朝日 5/3）でも安保関連法に53%が「反対」で、34%の「賛成」を大きく上回っている。

安倍首相は安保関連法強行採決後、「丁寧な説明に努める」としたが、これまでに国民が納得するような説明がなされてきただろうか。一旦成立してしまえば、そんなことも忘れ去ってしまうのだろうか。自衛隊の新たな任務の付与についても夏の参院選挙後に先送りし、争点化を避けてなるべく国民に目立たぬように進めていこうとしている。

戦争をする国は、私たち国民の権利も自由もそして財産までも奪い去る。私たち医療人は国民の生命と健康を守り、生存権である憲法25条を実現させることを使命としている。そのためにも、憲法9条を実現させ、二度と戦争をしない平和な国をめざし、個人として幸福を追求する憲法13条を守っていかなければならない。今を生きる私達の責任として、平和を求める全ての人々と共に、日本を再び戦争国家にしないために、憲法の平和主義を覆す動きを全力で阻止することをここにあらためてここに宣言する。

2016年5月7日

九条の会アピールを支持する京都医療人の会総会・講演会

参加者一同